

図書館だより



平成 23 年 4 月 22 日発行

暖かさを感じたり、満開の桜を見たり、春が旬の食材を食卓に並べたりしながら春の訪れを感じている日々ですが、みなさんはどんな瞬間に春を感じているのでしょうか。日本は四季移り変わりははっきりと感じることのできる国です。春に限らず、その季節にしかできないことがたくさんありますので、折々の季節を楽しみながら過ごしたいものです。

さて、1年生のみなさんは秋草での生活がスタートしてから2週間が経ちましたが、学校には慣れてきたでしょうか。図書館の利用については学年集会やオリエンテーションの時間を使って、説明をしましたが、その後早速、みなさんが昼休みや放課後に図書館を利用してくださることをとても嬉しく思っています。集会でもお話したように、今まで図書館や本と疎遠な生活を送ってきた人も秋草に入学したのを機に、図書館にも本にも親しんでほしいなと思っています。そして、そうなるよう、図書館では今年度も様々な企画を行いますので、2、3年生のみなさんも引き続き、たくさん図書館を活用してください。



季節を感じながら、おいしさを感じる♪

596シ『やさしい和菓子づくり』主婦と生活社

季節や行事が映されたお菓子、それが和菓子です。春になると、桜餅や柏餅が食べたくなり、夏になると、水羊羹が食べたくなり…と季節ごとに思い浮かぶ和菓子があります。買って食べるのもいいけれど、和菓子だって洋菓子と一緒に自分で作れちゃいます。大好きな和菓子を自分で作って、おなかいっぱい食べるのも素敵ですね。

図書館の開館と貸出について

開館時間: 通常 8:50~18:45 (※月曜は10:15より開館)
考査1週間前 8:50~17:30
考査中 8:50~17:00
土曜日 8:50~17:00

※学校行事及び長期休暇中の開館に関しては、その都度、お知らせをします。

貸出冊数: 3冊 **貸出期間:** 新着本 * 1週間 その他 * 2週間

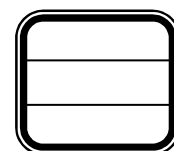
本の分類を覚えてみよう

みなさんが利用している図書館の本は日本十進分類法によって分類され、棚に並んでいます。このことは1年生で行う図書館の利用案内の中でも少し触れていますが、今年度の図書館だよりでは、この分類についてもう少し深く知ってもらい、図書館の棚にはこんな風の本が配架されているんだよということを覚えていってもらえたらと思っています。日本十進法のしくみがわかると、秋草の図書館だけでなく、公共の図書館や大学の図書館でも本を探しやすくなり、いいことづくしです。また、それに合わせて、各分類のおすすめ本も紹介していきます。



まずは…、ラベルの見方

図書館の本に貼られている三段のラベル。日本十進分類法で分類された番号がここに記されているわけですが、まずはこのラベルの数字や文字の見方を確認しましょう。



- ←分類番号：日本十進分類法で分類された番号
- ←著者記号：著者の苗字の頭文字（本によっては出版社の頭文字の場合もあり）
- ←巻冊記号：巻数（シリーズ物のみ記載）

三段目の副本記号は「これは初めて知った！」という人も多いかもしれませんね。シリーズ物を読む時には、副本記号を見て、巻を確認してください。棚に並んでいる本は、分類記号順、そして、著者記号の五十音順に並んでいます。

第1回 9の棚を知ってみよう

90	文学
91	日本文学
92	中国文学
93	英米文学
94	ドイツ文学
95	フランス文学
96	スペイン文学
97	イタリア文学
98	ロシア文学
99	その他の諸言語

では、第1回目はみなさんと1番馴染みの深い文学の棚を紹介します。文学の棚に配架されている本のラベルには「9」から始まる数字がつけられています(一次区分)。この「9」というのが、「文学」を表わしています。これに続く数字がどこの国の文学かを表わしていて、日本の文学の場合は「9」の次に「1」が続きます(二次区分)。ここからさらに詩歌、随筆、小説などに区分されてきます(三次区分)。例えば、『ハリーポッター』シリーズを借りたいなという時に「91」の日本文学の棚に探しに行っても残念ながら見つかることはできません。『ハリーポッター』はイギリスの文学ですので、「93」の英米文学の棚へ行きましょう。ちなみに、『星の王子さま』は英米文学と思われがちですが、フランス文学なので「95」の棚を探してください。

🐵 こんな本があるよ ～9の棚編～ 🐵

9136-モ【9=文学 1=日本 3=小説 . 6=近代】

『ペンギン・ハイウェイ』 森見 登美彦 || 著 角川書店

周りとはひと味もふた味も違った個性を放つ小学4年生の僕。僕は登校の途中、街中の空き地でペンギンの群れを発見する。好奇心旺盛かつ、研究熱心な僕はこのペンギンたちに興味を抱き、「ペンギン・ハイウェイ」と研究名をつけ、その謎を追いかける。そのうちに、とんでもないペンギンの秘密を知ることになる。その秘密は、なんと歯科医院のお姉さんの放り投げたコーラの中に隠されていた。ペンギンを追いかければ、追いかけるほど、不可解な出来事に遭遇していく僕。

どんな結末が待っているのか、まったく予想のつかず、夢中でページをめくってしまいます。

9146-サ【9=文学 1=日本 4=評論・エッセイ . 6=近代】

『毎月新聞』 佐藤 雅彦 || 文と絵 毎日新聞社

毎日新聞に掲載されていたコラム。「新聞のコラムなんて読んだことないよ」という人も、まず表紙だけでも見てほしい。小さな新聞のような表紙には「じゃないですか禁止令」という見出しで、文章が書かれている。気になって、思わず読んでみると・・・、おもしろい。「うんうん」と頷きながら、ササッと読むことができる量も嬉しい。

表紙で、興味が湧いたら、目次も開いてみよう。「じゃないですか禁止令」に続き、きっと「この表題で一体どんな文章が書かれているんだろう!？」というものがいくつもあはず。読んでいて、発見したのは、実は佐藤さんは『だんご3兄弟』の作詞者だということ。この人があの歌詞を考えたのか、と思いつつ読むと、ますますおもしろい。

936-キ【9=文学 3=英米 6=記録・手記】

『ある小さなスズメの記録』 クレア・キップス || 著 文藝春秋

この本の主役は、なんと!スズメです。ある日、家の前で瀕死の子スズメを見つけた著者のキップスさんは「生まれたばかりの赤ん坊が玄関先に置き去りにされていたら、見捨てるわけにはいかないだろう」と子スズメを手厚く介抱しました。その甲斐あって、子スズメは命を繋ぎ、1人と1匹は共同生活を始めます。

読んでみると、どのページからもキップスさんのスズメに対する深い愛情が伝わってきます。まるで、息子のことを語るように、その愛らしさ、賢さ、成長ぶりが語られています。スズメってこんなに感情豊かに生きているんだと思わずにはいられませんでした。

🐞 おはなし会に参加しませんか♪ 🐞

今年度もチームおはなし会はパワー全開でおはなし会を開催していきます!!

第1回目のおはなし会は、6月23日(木)16:10より図書館で開催します。たくさんの新たなメンバーが加わったチームおはなし会ですが、引き続き、有志としておはなし会に参加してくれる人を募集しています。声で表現するのが好きな人、人前に立つ度胸をつけたい人、実はおはなし会に興味を持っている人、大歓迎です。ぜひ、チームおはなし会の一員として、楽しく活動しましょう。

参加を希望する人は、**5月12日(木)16:10**より練習を開始しますので、事前に図書館カウンターの司書に「おはなし会に参加したい!」と伝えに来てください。

また、おはなし会のプログラムは後程、各クラスに掲示します。聞きに来てくれる人も大募集です。気軽に足を運んで、おはなし会の様子を見てみてください。過去のおはなし会のDVDも図書館にはありますので、いつでも観にきてください。様々な演目を取り揃えています。

